

轉法輪

子安地藏尊大法会

七月二十四日(日)午前八時より



子安地藏尊

心清浄なる時は
則ち仏を見、若し
心不浄なる時は
則ち仏を見ず。
弘法大師

平成二十八年七月一日発行
発行所 犬飼山轉法輪寺
〒六三七一〇〇七二
奈良県五條市犬飼町一二四
電話〇七四七二二一四四〇三
FAX〇七四七一五一四七二七
編集発行人 桑山聖淳
印刷所 森本印刷工業所
和・伊都郡かつらぎ町妙寺

雨上がりに見る草木の緑が清々しく映る、今日この頃です。

七月二十四日(日)は、当山地蔵尊大祭を奉修いたします。お地藏様は六道をお導き頂く仏さまです。お地藏様の御真言は「オンカカカピサンマイイソワカ」。「カカカ」は笑い声だと言われています。お地藏様の幸せの笑みを頂きに、皆さまお誘い合わせでご参詣くださいませ。

地藏尊法要

地藏堂にて 午前八時

永代供養水児霊の御回向

大教室にて 午前九時半

水児幼没霊供養

先祖諸霊供養

安産子授・子育て祈願

千灯供養境内にて 午前十一時

昼食接待

地元のごどもたちのダンスステージ

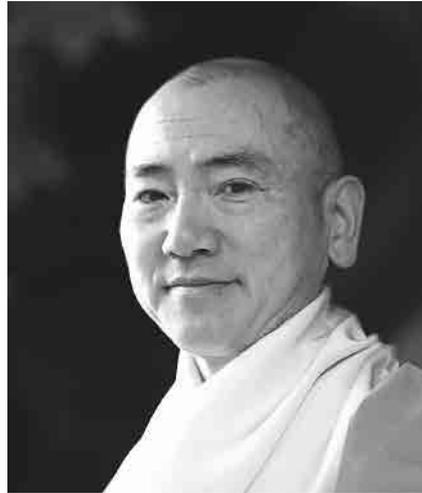
一生懸命練習しています！

見に来て下さいね！

犬飼山轉法輪寺

シャトルバス運行(橋本駅⇔轉法輪寺)
午前7時～11時 毎時45分 橋本駅出発

よい仏に なるために



轉法輪寺住職 桑山慈紹

人間の命は短いものです。生れては死に、生れては死に。その繰り返しの中に人間の世界があります。いつたい、私たちは何のためにこの世に生きてきたのであろうか、これは古今東西の思想家の根本にある命題といえるでしょう。

私も六十六才となり、何人もの旅立った人の導師をさせて頂き考えました。日本人の大半は神道か仏教徒で、死を迎えれば戒名(法名等)を引導する導師より頂いて、仏や神の世界に旅立ちます。生れた限りは死ぬ訳ですから、日本人の大半は、神か仏か、その他の霊となつて、死後の世界に存在することとなります。仏教寺院の檀信徒に限つて申しますと、死ねば仏の世界に帰る訳です。この事を思いますと、人間は仏になるためにこの世に生きていると考えることが出来るわけです。

仏教が生まれたインドでは、古来より輪廻転生の思想が広まっています。それは、命あるものは生き死にを繰り返し返すということです。一般に善因善果、悪因悪果といわれ、この世で良い行いをすれば次の世で良い結果となり、悪い行いをすれば悪い結果が待っているという訳です。殊に六道輪廻といつて、地獄・餓鬼・畜生・修羅・人・天の六つの世界を繰り返すといいま

す。お釈迦様の『法句経』に「邪の見到著せる衆生はわざわいの途(地獄)におもむくなり」と説かれています。

弘法大師は秘密曼荼羅十住心論巻第一に、「凡夫の行いに、殺すこと、盗むこと、男女の道を乱すこと、嘘をつくこと、ののしりの言葉を使うこと、二枚舌、うわべ飾り言葉を使うこと、貪り、瞋り、癡さの十種の悪しきはたらくきは、三悪道、地獄餓鬼畜生の迷いの三つの世界に至る原因となる」と仰られました。

どうすれば安らぎの世界、極楽の世界に行けるのでしょうか。一例をあげてみましょう。先日、亡くなられたAさんの葬儀をさせて頂きました。どうやらAさんは、生前より親を憎んでいる様子です。供養のあと、身内の方に尋ねますと「わかりますか。実はAさんは幼少の頃、他家に預けられて大きくなりました。大人になつてからも、そうした親を憎みとおしました。」「そうですね。でもAさんはすでに仏の世

輪 法 轉 (3)

界に入ってしまったのです。仏の世界は、許し許しあう世界です。許さなければ自他ともに苦しみの世界に沈むのです。」と話し、不動尊護摩供養を繰り返して修行致しました。ようやく素直な本来のAさんとなり、安らぎの仏の世界に導かれたのでした。

地獄と極楽の世界の入口は、ほんの少しの心得違いから始まるとも言えるでしょう。仏になるためには、三宝を敬い、戒を守り精進努力することが大切と存じます。幸い真言宗には皆さまよくご存知の十善戒があります。この十善戒を守り、世のため人のために尽くすことこそ、この世に於いても後の世に於いても、立派な仏になれる道と申せましょう。



地藏菩薩の話

名誉住職 桑山聖規

当山の子安地藏尊は、昭和三十九年七月二十四日に開眼されました。靈驗顕著の佛で今年五十二年目になります。

昭和二十年の終戦後は、妊娠中絶する人が大変多くありました。その為に母体に変調を起し、頭痛や足腰の痛み、不眠などの症状が出て、医薬で治りにくい人が当山に参拝されました。人工中絶は人により様々な事情がありますが、親が子を殺す、大きな殺生罪であります。至心に懺悔して供養することにより、親も子も共に救われます。当山の水子供養は毎週七回で結願としていきます。その後は各家の仏壇にて位牌か子安地藏尊像をおまつりし、ご先祖様と共に拝んで頂くように指導

してまいりました。また永代供養の地藏尊像は現在二一三三三三あり、日々供養しております。

七月二十四日は、総ての子を救い、親を助けて下さった子安地藏尊の感謝の大法要であります。当山で供養を受けられた方、永代供養をされた方をはじめ、ご縁ある皆さまはどうぞご参拝くださいませ。

どこの墓地でも六地藏尊がまつられているように、地藏尊は宗派を超えて総てを救い下さる御誓願をたてられています。六地藏尊は地獄道・餓鬼道・畜生道・修羅道・人道・天道の六道に行く霊を漏らさず助けて下さる有難い佛です。佛



水子の個人供養を受け付けています。毎日9時、11時、14時、16時からお勤めを致します。

の子である私たちが六道に迷うのは何の因果でしょうか。

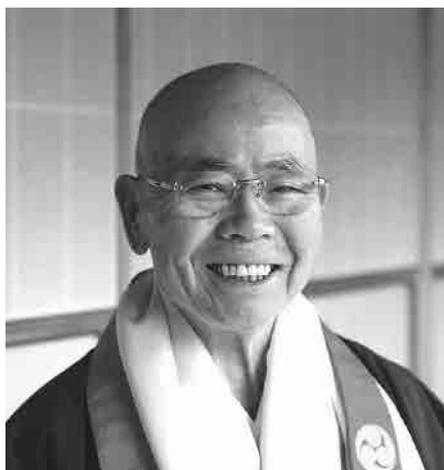
地獄に落ちる人は、自分の我がまま勝手に人を苦しめた人。餓鬼道に落ちる人は、欲深く人の物でも取り込む行いをした人。畜生道に落ちる人は、礼儀・恩を知らず恥ずかしい行いをした人。阿修羅道は喧嘩好きでよく争いをした人。人道は恩を知り、仲良く助け合いをした人。天道は人の為に自分を捧げた人が昇ると言われます。この上に声聞・縁覚・菩薩・如来と、佛さまの世界が続きます。

地藏尊はこの総てに慈悲心を持って助けるために働いてくださる有難い佛さまです。私たちが我が子のように愛して日々お守り下さっています。地藏尊の御真言は「オンカ力カピサンマエイソワカ」。御真言を唱えて御加護に感謝し、現世も後生も安楽でありますようにと信心いたしましたしよ。

生かせいのうち

【第五十話】

名誉住職 桑山聖規



真言密教の教えは「即身成佛」です。

即身成佛とは、生きている現世で佛となる事です。私たちは生まれながら佛の子であり、また他人も佛の子、

皆が佛の子である事を信じ、自他が幸せになるよう努力する事です。御親である大日如来の御真言「アピラウンケンソワカ」を常に唱えていると、大日如来と自分が一体となります。心身の病気や悩みが次第に消えていきます。病気には身体のもとの心のものであります。自然にしたがい、逆らわぬようにすることが大切です。

人間も動物の仲間です。動物は「動くもの」というように、適度の運動が第一です。毎日の体操や、歩くことが大変よいようです。住職は毎朝、運動を兼ねて墓参りをしていますので、体調を崩すことが少ないのだらうと思えます。

次には食べ物です。佛道では「良薬を摂取するが如く適量にせよ」と食事の時に唱えて頂く事を教えられ

輪 法 轉 (5)

ています。過食や栄養過多では薬になりません。

次は心の問題です。怒る事と心配する事は、一番身体に悪いです。心配で夜も眠れぬような時はすぐ体にこたえます。常に自分は生かされていることを知って感謝の生活をすれば、健康にもよろしいです。

生まれたものは早晩死ぬものですが、後生は佛の世界に行きます。恐れる必要はありません。大日如来から生まれた私たちが、また帰る日まで生かされている。この感謝の心が、大安心となります。

自然に逆らわず、穏やかに感謝の心を保つこと、これが本来持てる力を最大に生かす道です。自分に本来そなわっている徳を十分に生かして、健康幸福の人生を送ってください。

南無大師遍照金剛

心に宝をー20ー

「手放す勇氣」

平成二十八年 水無月



橋本市

宝形山 地藏寺

井上 覚善

梅雨に入つて間もない頃、熊本の父から突然電話がかかってきました。そして開口一番、「もう、車の運転は、やめることにしたけん。」と言うのです。私がびっくりして訳を聞くと、「今しがた、事故ば起こしたけん。」またまたびっくりして「何処で事故したとね。」と聞きますと、しばらく沈黙があり、「実は境内で・・・お参りから帰ってきて、車ば止めようとした時にね、ブレーキとアクセルとば踏み間違えて気が動転してしもうて、車止めば乗り越えて木にぶつかつてしもうたつ

た・・・まあ、怪我はせんやつたとばつてん、車のバンパーとボンネットが結構へこんだばい・・・」との事でした。そして一呼吸おいて、「実はね、事故ば起こす前に街ん中を走つとつて信号で止まった時にね、ちょうど登校中の小学生の列が目の前ば通り過ぎて行こらす時にね、もし、こぎゃん状態でブレーキとアクセルば踏み間違えたら、おおごとない。」と、ふとそんな思いが頭をよぎつたというのです。だからこれは神仏から「もうそろそろ運転は危ないからやめた方が良いぞ」とのお諭しであろうと受け取り、これを機にきつぱりと運転をやめる事にしたと言うのです。

それを聞いて私は「うん。それが良かよ。大きな事故ば起こしたり、人様に怪我させたりする前で良かつたたい。よう決心ばしたね。今まで普通の人の何倍も乗つて走つてきたけん、もうよかたい。」と答え電話を切つた後、自然と大きなため息が出て、「昔はとて

お子様の撰名を致します。出来るかぎりご両親の希望に沿いながら、姓名学に則った良名を選ばせて頂いております。

も元気で運転も抜群に上手だった父が、とうとう運転も出来なくなってきたのか。」という寂しさがこみ上げてきました。しかしこれもまた、「人生の晩年の過ごし方、こころの持ち様の大事なヒントを教えてくれたのではないか。」と思ひ直すことにしました。

そして今回の父との一連のやりとりで感じたのは、新しいことを始める時、またそれを続ける事も大変だし勇気のあることではあります。一番勇気が必要なのは、「長く続けたことを辞める時、大事にしてきたものを手放す時ではないか。」と教えられたように思いました。

ですから、私たちが「今」やっている事、させて頂いているどんな事も、いつかは卒業したり、なんらかの原因で出来なくなる日が必ず訪れます。だからこそ、後で後悔することの無いように、今出来る事を精一杯しておく事こそが、いつか辞める時、手放さないといけなくなった時に、『潔さ』をもた

らしてくれるのではないのでしょうか。

『立つ鳥あとを濁さず』、中々難しいことではありますが、今をしつかりと生きて、チャレンジしていきたいものです。合掌

夏越のはらい

不動護摩

キユウリ加持



七月二十八日(木)

朝九時より

キュウリを自分の身体に振り替え、病や災難を封じ込める秘法です。夏の暑さに負けずに暮らせるよう、ぜひご参拝ください。

本年は七月の不動護摩供と一緒にいきます。お間違えのないよう、よろしくおねがいします。当日受付は十時までとさせていただきます。

秋の四国巡拝のお誘い

平成28年10月29日(土)～11月1日(火)

3泊4日・讃岐、高野山お礼参り

<今回の行程>

71番～88番、高野山奥の院

75番善通寺、81番白峯寺、2番極楽寺に宿泊予定

<参加費用> 54,000円程度

春秋年2回、全4回の行程で満願です。

どこから巡拝を始めて頂いても結構です。

お気軽にお問い合わせください！



毎月第二金曜日の午後7時より、「お経を習う会」を開いています。どなたでもご自由にご参加ください。

行事報告

お世話人研修旅行

去る五月十九日



犬鳴山は修験の根本道場ですの
で、参道は少々厳しいものでした
が、お世話人さま同士手を取り合っ
て進む姿に、研修旅行の本懐を見
たように思います。また根来寺で
は、覚鑿上人の生涯と堂塔のご案
内、「かくばん汁」を昼食に頂戴し、
充実したお参りとなりました。
轉法輪寺では毎年世話人様向け
の親睦・研修の旅行をご案内して
おります。お世話人は檀家でない
方でも入って頂けます。どうぞ寺
務所までお声かけくださいませ。

よだれかけが

繋ぐ縁



「拝啓 昨夏声をかけて頂き、旅の楽
しみがまた深まりました。手運びでは
かどらず、少ししか作れませんでした
が、不細工な出来上がりですがお使い
ください」群馬県から届いた荷物、そ
の中には美しい布(おそらく着物地)
で作られた、たくさんのよだれかけが
入っていました。

今から一年前、子安地藏尊大祭に皆
様から奉納を頂いたよだれかけを、奥
の院参道のお地藏さまに掛けている時
に出会ったご婦
人からのもので
した。

一針一針、心
を込めて縫い上
げられたよだれ
かけが、たくさ
んの方とつな
がっていく不思
議に感謝して
います。



子安地藏尊のお願い

水児供養を希望される方は、同封した
供養申込書にてお申込み下さい。
当日でも受付ます。(一霊五百円です。)

へご奉仕のお願い

暑い時ですが、世話人様はじめ信者の
皆様のご協力をお願いします。

- ① 七月二十三日(出)、掃除、のぼり立て、
ちょうちんつり、飾りつけなどの
諸準備。
- ② 当日七月二十四日(回)早朝より。
そでなし白衣・うで念珠、
または、ゆかたでお手伝い下さい。
- ③ 七月二十五日(月)、あとかた付け。
- ④ 八月一日(月)
高野山よだれかけ付け参り



毎月三回不定期で「タイコの会」を開いています。お経を唱えながら
タイコを叩いてみませんか？

四国八十八カ所

歩き遍路の

ちよつといい話

松山市

山本益男

歩いているときは

いろんな事に出会うのよ・・・

その18

お地藏様の「縁日」が二十四日であることから、よく子供達の夏休み期間に合わせて八月二十四日に「地藏盆」の行事が行われます。この催しは、元々から地域の子供達のために始められたものだったわけではありません。古くは平安時代に始まった末法思想（まっぽうし）：平安時代中期から流行した仏教の歴史観で、釈尊の入滅後二千年（この期間を正法・像法の世という）を経ると末法の世となり仏法がおとろえて世の中が乱れるという思想で、日本では一〇五二年からその時代に入るとされた。）から人々は浄土への憧れを

増幅しました。人々は、毎月二十四日を「縁日」として、お地藏様の名前を念仏のように唱えて、ひたすら西方浄土への往生を祈願するために集い、それを地藏会・地藏講と呼んでお祭りしたようです。縁日と聞くと「ああ、露店が出るお祭りのことですね」と答える方がいますが、この「縁日」というのは、その字の如く仏様に「縁のある日」のことで、お地藏様以外にも薬師如来の八日と十二日、阿弥陀如来は十五日、観世音菩薩は十八日など沢山の縁日があるのです。

今回なぜこのような「お地藏様」を話題にしたかというそれは、一回目の歩き遍路の時の勘違いによるものです。東北の人間である私は、写真に示す「もの」がなんだか分かりませんでした。道路の擁壁の上とか歩き遍路道によく見かけるので、私は「お地藏様」が中にいらっしやるのだと勝手に勘違いをし、さすがに大師信仰の厚い四国だなあと側を通り過ぎる際には、わざわざ会釈（この時は、まだ御真言は知りませんでした）していました。四国

に転動して、その正体が「蜂巢箱」と知ったとき、会社の同僚には大笑いされましたが、「我が家では蜂蜜という労力の成果をいつも有り難く頂いているのだからまあいいか」と今も「巢箱」と正体が分かってからも会釈しています。

しかし、「お地藏様」はいくら身近な仏様でもありがたい仏様には違いないのですから、お参りする時には、それなりの作法をもって祈念したいものです。一番簡単なのは、「オンカカピサシマエイソワカ」というご真言をお唱えします。「類いまれな尊いお地藏様」という意味だそうです。その心を意識して「おんにここにはらたてまいぞやそわか」と以前何かで聞いたことがあります。

今回は、私の誕生日と縁日と同じ日ということではなぜか「こ



お地藏様が祀られている？
と思った「蜂巢箱」

御詠歌をお唱えしませんか？お寺での法会のほか、本山での行事などの参加機会もあります。お気軽にお問い合わせください。

縁を感じる「お地藏様」について実は
正体は菓箱であったという話からつれ
づれなるままに書いてみました。あら
ゆる万物に感謝です。次回は、通常の
お遍路雑記に戻ります。それではごき
げんよう。

合掌

おじぞうさん作り

五條市立牧野小学校四年

池田梨乃

五月二十一日におばあちゃんと一緒
に、犬飼寺におじぞうさんを作りに行
きました。

部屋に入ると小学生は私だけだった
ので、とてもぎんちようしました。
初めに、粘土を一人三つずつ配られ

ました。その一つの粘土は頭の部分で、
二つ目の粘土は体、あともう一つの粘
土は着物の部分と手の部分です。最初
に頭を作りました。きれいな丸い頭を
作りました。次に体を作りました。
のりみたいな液を付けて、頭と体をひ
ねりながらくつつけていきました。

鼻と耳を作るときは、鼻はとんがっ
ている所がむずかしかったです。耳は
へこます所がむずかしかったです。一
番むずかしかった所は、つまようじで
目と口をかけた時です。失敗したらダ
メなので、手がとてもふるえました。
それでもがんばって、きれいなかわい
い顔ができました。とてもうれしかっ
たです。おばあちゃんのおじぞうさん
の顔も私がかいてあげました。

そのまま持つて帰られると思ってい
たら、焼くのに時間がかかるので一か
月先と言われました。持つて帰られな
かったのはざんねんだったけど、でき
上がりがとても楽しみです。

おじぞうさん作りはむずかしかつた
けど、楽しかったです。



おばあちゃんと、焼き上がったお地藏さまを
手に持ってスマイル！
次回開催は7月21日です。夏休みの課題工作
にいかがでしょうか？

表紙「大師のお言葉」より私訳

気がかりなことがある時には、おい
しい食事も味がせず、美しい音楽も耳
に入ってこないもの。穏やかで清らか
な心持ちでいると、風の涼しさ、虫の
声：色んなものが感じられてきます。
仏さまの声も、耳をすませば…。

お世話人募集！お寺の行事を手伝っていただけるお世話人さまを募集してい
ます。信仰の輪を広げてみませんか？研修旅行などの企画もしております。



帝塚山大学教授
西山厚先生の講演



内吉野結衆寺院の御住職様方
によるお勤め



大銅町の皆様手作りの
紅白餅をまきます！



熊本地震支援バザーも
大にぎわい！

弘法大師 正御影供盛大

去る四月二十七日

お大師さまは、いまこの身体で仏になれると仰せられました。我々の次元で考えますと、特別な誰かにならなくても、日々の行いによつて皆を幸せに出来る私になれるということでしょう。お大師さまの御心をつなぎ、日々に生かす心が「正御影供」には込められています。

盛大に法会を修行できたこと、ご支援ご喜捨いただいた皆様に深く感謝いたします。